

## 令和3年度 第10回全体庁議（8月3日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(1) 第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況 について[政策推進部]
----	-------	--------------	---

### ■ 提案・報告の趣旨

第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進にあたり、毎年度、取り組みの検証・改善を行うこととしており、今般、令和2年度の取り組みの評価・検証を行ったため、同内容を、今後、開催予定の帯広市総合計画策定審議会の議論も踏まえた上で、令和3年8月25日の総務委員会に報告するもの。

### ■ 提案・報告の主な内容(概要)

#### 1 帯広市の人口動向

- ・令和2年の国勢調査の速報および平成27年国勢調査の結果をもとに、増減率を道内主要都市と比較したところ、帯広市はマイナス1.6%となり、道央圏以外では減少幅は最も低い結果となった。
- ・令和2年の出生数は1,100人を割る一方、死亡数は微増しており、自然動態の減少幅は拡大傾向にある。
- ・社会動態はこれまで転出超過傾向であったが、令和2年は転入超過となった。令和元年から令和2年にかけて、東京への転出は2分の1減少、札幌への転出は120名程度減少しており、感染症の拡大が人口移動にも影響したものと考えられる。

#### 2 総合戦略の進捗評価等

- ・4つの基本目標毎に令和2年度の評価をとりまとめたもの。
- ・数値目標の進捗状況に応じて、「順調に進捗」「概ね順調に進捗」「さらなる進捗が必要」と3段階で評価している。
- ・基本目標1は、農業産出額については順調に推移しているものの、創業・起業件数や法人市民税の賦課法人数について、感染症の拡大に伴う景気悪化などにより、創業まで至らないケースがあることや法人数が減少していることから、目標達成しておらず、「さらなる進捗が必要」となっている。
- ・基本目標2は、移住者数は進捗しているものの、感染症の影響を大きく受け、宿泊客延べ数や空港旅客数が大幅に減少しており、「さらなる進捗が必要」となっている。
- ・基本目標3は、働き方の見直しやワーク・ライフ・バランスの推進などの社会的な動向も受け、育休制度の導入率や北海道働き方改革推進企業認定数が順調に進捗しており、「概ね順調に進捗」となっている。
- ・基本目標4は、感染症の拡大に伴い、地域コミュニティ活動や交流・賑わいを前提とした市民活動が制限されたことにより、ボランティア登録者数や自主防災組織活動カバー率が影響を受け、目標未達となっていることから、「さらなる進捗が必要」となっている。
- ・感染症の影響等により、全体を通して進捗が思わしくないが、毎年度の評価・検証を通し、課題等を整理し、取り組みの改善などを行いながら、計画期間である令和6年度の目標達成に向け、取り組みを進めていく。

### ■ 今後のスケジュール

- ・令和3年8月20日 総合計画策定審議会で議論
- ・令和3年8月25日 総務委員会へ報告

### ■ 審議結果

- ・同内容で、総合計画策定審議会の議論も踏まえ、8月25日総務委員会へ報告することで了承された。

### ■ その他、指摘事項等

- ・特になし